

令和3年8月13日

全国及び愛媛県内における新型コロナウイルス「デルタ株」の爆発的感染拡大に伴うお願い

教職員の皆様

学長（危機対策本部長） 仁科 弘重

新型コロナウイルス感染拡大防止に関し、教職員の皆様のご協力に感謝申し上げます。また、7月17日（土）から開始したワクチンの職域接種ですが、先週末の8月8日（日）までに第1回接種を終え、今週末14日（土）からは第2回接種に移行します。県内の大学の学生、教職員などに広くワクチンを接種している本学の取組みには、県内各方面や文部科学省から高い評価をいただいています。この場をお借りし、ワクチン接種対策班員として付加的な業務を担っていただいている教職員の皆様及び医学部附属病院関係各位に、改めて御礼申し上げます。

なお、残念なのは、かなりの数の学生が接種予約日に無連絡で来なかったこと、また、そのこともあり、学生の接種率は6割程度にとどまりそうであることです。

さて、感染力が著しく強いといわれている「デルタ株」の拡大に伴って、現在、全国的にも、愛媛県内でも、急速な感染拡大が起こっています。県内では、各所でのクラスター発生、松山市での多数の新規感染者発生によって、連日、数十名もの感染者が確認されており、愛媛県は、警戒レベルを最高の「感染対策期」としました（11日（水）から当面の間）。

この状況を受け、本学では、現在BCP警戒レベルを「イエロー」としている項目（学生の入構に関する方針、授業やサークル活動の実施方針、教職員の研究活動の実施方針など）も、18日（水）から「オレンジ」に上げることを検討しています。ここ数日の感染状況を把握した上で、17日（火）に危機対策本部会議を開催し、BCP警戒レベルの変更を最終決定する予定です。

いずれにしても、感染力が強い「デルタ株」に対して、これまで以上の「感染拡大防止行動の徹底」をお願いします。具体的には、居住する空間の換気を十分に確保し、常時マスクを適切に着用いただくとともに、以下については、中止または延期を是非ともご検討ください。

- (1) 県境をまたぐ移動（帰省などの私事も含む）
- (2) 県外からの訪問者との面談
- (3) 密が生じやすい場所への訪問（イベント参加を含む）
- (4) 普段から顔を合わせていない人との会食

また、松山市の感染状況が厳しいことから、県内の移動であっても、「今、必要」な移動以外は、自粛してください。

最後に、教員の皆様に再度のお願いです。

本学では、最近も学生の感染者が出ていますが、その感染原因は、まさに上記の(1)～(4)となっています。学生の身近にいらっしゃる先生方から、「コロナ感染は身近に起こっている」ことも含めて、感染防止行動の徹底について、再度、学生に指導していただきたく、お願いいたします。本学から多数の感染者が出ることは、是非とも避けたいと考えています。

私たちの努力とワクチン接種の拡大によって、愛媛大学に一日でも早く、これまでの日常を取り戻したいと思います。よろしくご協力のほどお願いいたします。